

# ICDL よくある質問

出版社、著者、イラストレータ、その他著作権所有者について

改訂2005年3月18日



[国際児童デジタル図書館\(ICDL\)とは?](#)



[ICDL は誰によって創立されたのか?](#)



[ICDL の研究目的とは?](#)



[ICDL は対象としているのか?](#)



[どのような資料や文献が ICDL にはあるのか?](#)



[ICDL に書籍を登録することでどのような利点があるのか?](#)



[デジタル書籍ではなく、紙での書籍を購入したい人がいた場合の為に、  
ICDL には購入サイトをリンクすることが可能か?](#)



[どのような許可を ICDL は著作権所有者にお願いすることになるのか?](#)



[著作権所有者の利権を ICDL はどのように保護するのか?](#)



[ICDL に書籍を登録する必要がある際はどうすればよいのか?](#)



[ICDL についての情報をさらに得るにはどうすればいいのか?](#)

## 国際児童デジタル図書館(ICDL)とは?

国際児童デジタル図書館(ICDL)は、世界中の傑出した児童書を集めたデジタル図書館を設立するという、主に国立科学財団 (NSF) や博物館・図書館サービス局 (IMLS)、そしてマイクロソフト・リサーチによって資金援助を受けているリサーチプロジェクトである。このプロジェクトは、2002年11月にワシントン DC

にある国会図書館での国際的な祝賀会にて紹介された。この書籍の収集は、子ども達の周辺にある世界や地球全体の社会について理解するのを助ける資料を探し出すことに焦点を当てたものである。収集される資料は全て出版された言語にて集められているため、世界中の文化や社会、関心事そして人々のライフスタイルの類似点や相違点などを反映する。リサーチが一段落した頃には、ICDL コレクションが少なくとも 100 言語からなる約 1 万書が収集されると考えられている。

## ICDL は誰によって創立されたのか？

ICDL は、「インターネット・アーカイブ」と協力してメリーランド大学の他分野からなる調査チームによって創立された。チームは、コンピュータ科学者、図書館司書、教育技術者、学校教師、グラフィックデザイナーや、メリーランド大学 (UMD) 情報学部 (CLIS) や、UMD の人間 - コンピュータ相互実験室の大学院生と、子供のインターフェースデザインの先駆者によって成り立っている。

その他、実験室で大人と定期的に調査に参加している 7 歳から 11 歳までの児童 6 人を集めたメリーランドキッズチームも、このプロジェクトには深く貢献している。調査方法は、*cooperative inquiry* (共同質問) と呼ばれるものが使われていて、大人と子供と一緒に電子形式の書籍を探したり読んだりするための補助となるコンピュータでのインターフェース技術を共に開発したり評価したりするものである。

## ICDL の研究目的とは？

ICDL プロジェクトの主な目的は以下の5つである。

- インターネットを通じて世界中の子供たち、教師、図書館司書、子供たちの親、そして学者が自由に読むことの出来る、少なくとも 100 言語で書かれた 1 万冊以上のコレクションを構築する
- 大人が子供と一緒に企画パートナーとなって、電子形式の書籍を探したり読んだりするための補助となるコンピュータでのインターフェース技術を共に開発や評価をする
- デジタル時代の中、権利の扱い方とその「公平な使用」の概念についてしっかりと理解する
- デジタル資料にアクセスことで、どのような影響を学校や公立の図書館のコレクション収集や実際のプログラミングに与えるのかを評価する
- 子供たちが多文化の資料を集めたデジタルコレクションにアクセスすることと子供たちが書籍や図書館、読書に技術そして他の国や文化への姿勢との関係について理解を深める

## ICDL は対象としているのか？

ICDL コレクションは以下の2つの対象を主にターゲットをしている。まずは、3-13 歳の子供たち、そしてこの年齢層の子供たちと働いている図書館司書や教師、親そして介護士などである。そして、第二に、児童文学分野で研究を続ける世界中の学者や研究者が挙げられる。

## どのような資料や文献が ICDL にあるのか？

ICDL に所蔵する資料は次のようなものである。

- 国や人々、そして文化の相違を理解するのに役立つ
- 許容と受容を勧める
- 今の世界に生きる子供たちに関連する
- 3-13 歳の子供たちが非常に惹きつけられる
- 内容やフォーマット、そして体裁の質が十分に優れている
- デジタルのフォーマットでも効果的に読むことができる

今の段階では、“元々デジタルとして発行された” 書籍を ICDL には所蔵していない。紙で発行され、また発行された国にてよく知られた書籍のみを所蔵している。下記のような書籍が主に所蔵されている。

- 現在、発刊されていて著作権下にある書籍
- 廃刊になったものの発行された国にて著作権保護がかかっている書籍
- 著作権が消滅し、自由に使用できる書籍

全書籍は、そのままの形で発行された言語にて所蔵されている。簡約版や他の作品を改作したもので所蔵されているものもある。

コレクションの大部分は、著作権のある最近の書籍である。その他は、パブリックドメインとして残った重要な著名なものである。昔から有名な文学や現代文学、賞を獲得したような作品も入手出来次第すぐにコレクションに所蔵されている。

### ICDL に書籍を登録すると、どのような利点があるのか？

ICDL に所蔵されている書籍は、世界中の子供たちや図書館司書、教師や親そして学者に知られることになる。そうすることで、書籍を世界市場に知ってもらうことになる。最近出てきた作家やイラストレータをプロモートしたり目立たせたりすることも可能だろうし、市場を拡大したり、出版/共同出版の可能性もアレンジできるかもしれない。また、翻訳を促し、タイトルやシリーズに関してさらに世界中に知ってもらう機会となるだろうし、廃刊となったタイトルを復刊する可能性を作り出すこともあるだろう。出版社やその他の著作権所有者が I C D L 調査チームから、特定の書籍にどれだけのアクセス数があったかなどを尋ねることも可能である。

ICDL は、また良質の児童文学を世界に失われない様にするための手段を提供するものでもある。そのコレクションが大きくなるほど、以前は世界中に散らばった特別な図書館や機関にしか無かった歴史的な書籍にもアクセス出来るようになるだろう。

### デジタル書籍ではなく、紙での書籍を購入したい人がいた場合の為に、ICDL には購入サイトをリンクを張ることは可能か？

ICDL は、コレクションに書籍を貢献した出版社、著者、イラストレータまたその他の著作権所有者のインターネットサイトにリンクを張ります。しかし、コレクションの主な使用者は 3-13 歳の子供たちなので、当プロジェクトのサイトから直接書籍購入サイトへリンクするような直接的サポートはしておりません。

### ICDL は、どのような許可を著作権所有者にお願いすることになるのか？

ICDLは、書籍をデジタル版として再製し、それを[www.icdlbooks.org](http://www.icdlbooks.org)にある国際児童デジタル図書館のサイトにて公開することで自由に書籍を読んでもらうための限定しない権利だけを求めています。

## 著作権所有者の利権をICDLはどのように保護するのか？

ICDLは、コレクションにあるそれぞれの書籍のディスプレイ及び出版全てに関するメリーランド大学にある著作権所有者の著作権とその承認の旨を掲載している。

また、ICDLは技術的手段でもってコレクション内の書籍のダウンロードや印刷、不法なディスプレイ等を防ぐ対策も取っている。著作権保有者は、それぞれの著作に相応しいセキュリティレベルを選択することが出来る。レベルは、その書籍を読むのに他のソフトウェアを必要としないような最小限度のレベルから、ICDLが独自に開発したJAVAリーダーで暗号化されたイメージを読むレベルそして、高度のレベルとしてはAdobe Acrobat Reader（アドビ社のアクロバットリーダー）で読むというレベルまであります。

## ICDLに書籍を登録したい際はどうすればよいのか？

ICDLの調査チームは、コレクションに書籍を所蔵する際、以下の3つのアイテムを必要とします。

- 必要なサインのある [著作権ライセンス](#) 合意書 (もしくはパブリックドメインライセンス)
- 書籍全部分のオリジナルデジタルファイルもしくはスキャンファイル (コレクションの為のスキャン方法は [スキャン方法](#) にて確認のこと)
- 図書目録のメタデータ (どのようなデータが必要となるかについては、[ICDLメタデータに関する説明](#) を参考のこと)

## ICDLについての情報をさらに得るにはどうすればいいのか？

ICDL調査チームは、書籍を寄与したり、デジタル源を活用して書籍をシェアしたいという世界各国の出版社や著者、図書館そして他の機関に多くなる参加を願っております。

国際児童デジタル図書館に寄与したい、もしくは参加したいという場合、ウェブサイト[www.icdlbooks.org](http://www.icdlbooks.org) もしくはEメール[icdl-info@cs.umd.edu](mailto:icdl-info@cs.umd.edu) にて問い合わせをお願いいたします！